

図 13 20 週齢におけるマウスの精巣の組織像

新生仔期 DES 曝露による精子形成への影響を確認した (A とB)。A は溶媒 (セサミオイル) のみの投与群、B は DES 0.5 µg/匹投与群。また 5 週齢時の busulfan 投与による精子形成細胞の消失を確認した (C とD)。C は busulfan 非投与群、D は busulfan 投与群。スケールバー: 100 µm。

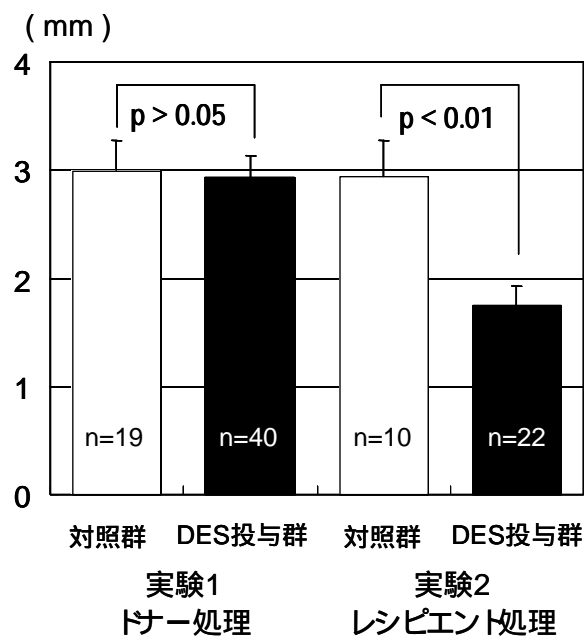


図 14 移植 10 ~ 12 週後の精細管での GFP 陽性部位の長さ

精巣を摘出後,精細管をほぐし, 蛍光顕微鏡下で GFP 陽性部位の長さを測定した。

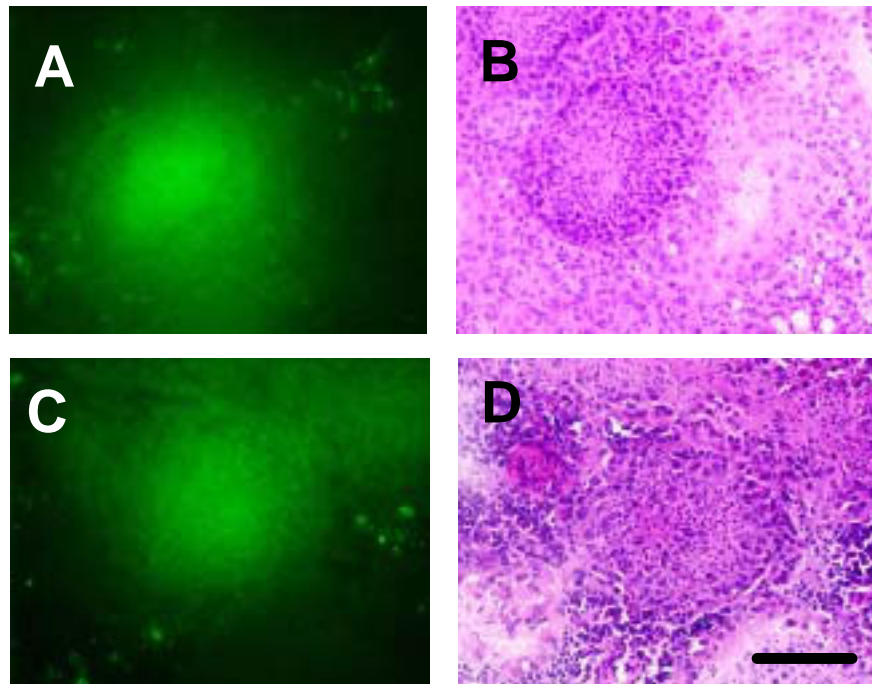


図 15 実験 1 : DES に曝露された生殖細胞を正常マウスに移植
 溶媒のセサミオイルのみを投与した対照群 (A とB) とDES 投与群 (C とD) の生殖細胞を移植した後の
 精巣 (20 週齢)。A とC は GFP の蛍光画像、B とD は HE 染色画像。スケールバー: 100 μm 。

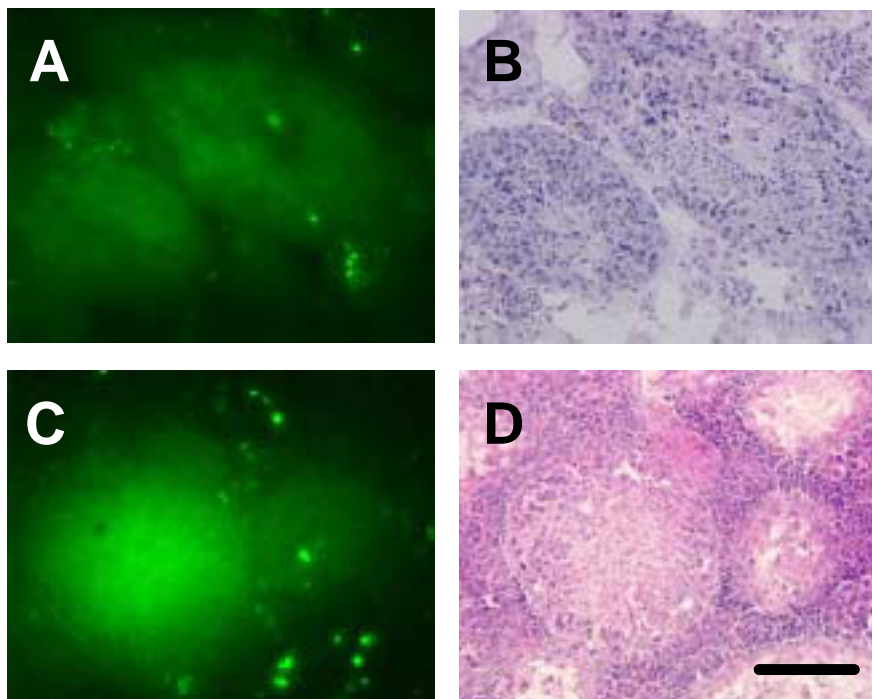


図 16 実験 2 : 正常な生殖細胞を DES に曝露された個体に移植
 溶媒のセサミオイルのみを投与した対照群 (A とB) とDES 投与群 (C とD) の個体をレシピエントとして、
 移植を行った後の精巣 (20 週齢)。A とC は GFP の蛍光画像、B とD は HE 染色画像。スケールバー:
 100 μm 。